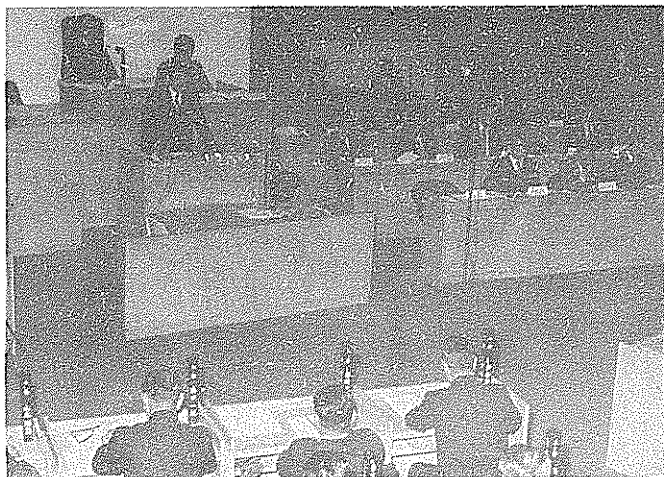


あなたと市政をむすぶ☆☆☆☆☆広報 **なんこく**



一般会計予算

ことしの市政の方向を決める三月定例会市議会は、三月十二日から二十六日までの十五日間の日程で開かれ、一般会計予算三十六億五千四百二十六万円、門田真一教育次長の助役選任の同意などを決めた。

0.9割の伸びの緊縮予算

ゴミ袋の無料化など可決

この議会は、杉本新市長が就任して最初の議会で注目されたが、狂乱物価のなかで、前年度当初予算に比べてわずか〇・九割の伸びと超緊縮予算になった。

また、予算編成の基本姿勢が「前市長の未了事業をまず完了、同時に公約実現に取り組み、ことから新市長のカラーは少なく目玉商品はゴミ袋の無料化。一世帯に年間百枚を無償で配付し、狂乱社会に明るい行政の手をさしのべているのが特色。

ことし一年で地域での対話集会や科学者、市議会、市民、職員など広範囲の人の意見をじっくり聞いて、市の未来像づくりに取り組み、革新市政としての生き生きとした施策がでるのは来年度といったところのようだ。

歳出では、総予算の約半分十七億五千三百七十六万円が民生費、老人医療費一億二千一十一万円、老人年金二百四十万円など老人福祉に一億七千四百四十四万円、児童

手当は約四百五十人を対象に、千六百二十万円。乳児医療費の扶助八百四十八万円。同和地区の教育振興として入学支度金、奨学資金（大学月一万円、高校、各種学校月六千円）に一千四百万円。西部保育所の新築に一億一千十万円など。そして国、県の補助、地方債など三億四千三百八十一万円で地方改善事業。生活保護費五億四千二百四十九万円にも市費一億八千四百九十九万円を出している。

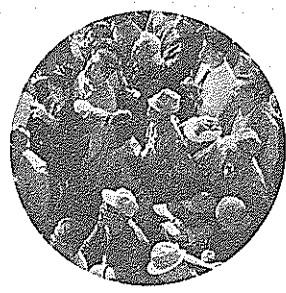
このほか、ゴミ袋の無料化に四千二百九十万円、取集の委託二千八百八十万円などじん芥処理に一億二千五百九十二万円。し尿処理の委託などで一千四百三十八万円。建設事業は、野田線舗装一千七百八十八万円、五本川排水路改修一千四百七十二万円。林道釣瓶線の開設九百二十四万円。県道前浜・土佐山田線（前浜から岩村まで）に自転車・歩行者の専用道路一千五百万円。奈路・中谷線一千五百万円。中島・島田線舗装など二十件一千七百七十四万円など道路の新設改良に一億八百九十九万円。四十七年災害のがけくずれ防災事業三千五百万円が予算化された。

予算の分析、解説は紙面の都合で、五月一日号に掲載します。

お知らせ版

4/15 1974 No.170

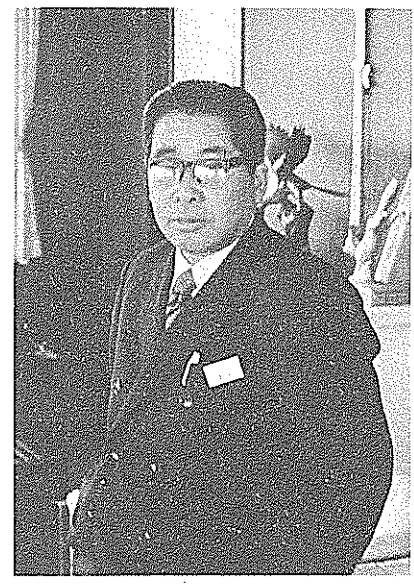
編集・発行／南国市広報委員会



助役・教育長の選任

助役に門田真一氏 (教育長)

教育長の選任は見送り



門田真一 助役

杉本市長は三月市議会が開かれて... 三月十八日、助役、教育委員の選任について追加提案、二十日全会一致で助役に門田真一教育長に選任に同意しました。

市長選挙のあと、徳橋一郎助役、利國富次教育長がそれぞれ金堂野市に辞表を提出、受理されたもの。このため、ことし一月四日からスタートした杉本革新市政は助役、教育長不在のままとなっていた。

人柄も市民や職員に好評な徳橋前助役を」ということで、「明るい会」市役所の課長、職員組合の三者が推選して徳橋氏を説得。最終的には市議会の同意がなければ選任されなかったため、保守系の市議員ら二十六人で構成する同志議員団(会長橋本二三三)にも協力を要請、徳橋新助役誕生の運びとなっていました。

ため協力したい。」と承諾。杉本市政がスタートして二カ月半ぶりに助役が実現しました。門田新助役は議会でも「役所勤めは長い、最近の約七年間は教育行政にあたっていたため、一般行政は新人と同じです。今後、新人のつもりで勉強し、杉本市長を助けて南國市の発展のため尽くしたい。」とあいさつがありました。

門田次長も課長会で「市政発展の... 門田次長も課長会で「市政発展の... 門田次長も課長会で「市政発展の...」

門田真一助役の横顔... 門田真一助役の横顔... 門田真一助役の横顔...」

杉本市政がスタートして二カ月半ぶりで新しい助役に門田真一教育次長(五二)が決まり三役が揃った。しかし、教育長の選任では、追加提案していた教育委員の選任同意議案を撤回、あらためて四月中旬ごろに臨時市議会を開いて議会の同意を得ようだ。

教育次長に国沢氏

竹村農振係長ら退職

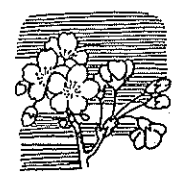
市は四月一日、行政職四十二人保母十二人の人事異動と新採用二十五人を発表しました。

杉本市長にとっては初めての人事異動でしたが、門田真一助役の就任で空席となりました教育次長徳橋前助役の辞任によりまず消防長、事務量の増による広報公聴係、固定資産の評価係の新設、一カ所に三年から五年以上、長期に勤務する職員の見直し、最少限の異動にとどまりました。

なお、産経課長補佐、農委農振係長を歴任した竹村通利さんら一人が退職しました。どうもご苦労さんでした。今後のご健闘を期待します。

- 退職 竹村通利(農業委員会農振係長) 岡林美弥子(十市保育所) 課同和対策係主幹 岡崎聡二(福祉事務所社会係長) 税務課主事 課長 教育委員会教育次長兼総務課長 (補佐) 国沢守道(消防長) 消防署長 川田正雄(消防署長) 消防署次長 徳橋喜世久(監査事務局局長心得) 監査事務局監査係長 西川哲 係長・主幹 企画財政課秘書係長(福祉事務所社会係長) 十河正雄(同課広報公聴係長) 同課秘書広報係主幹 沢本英世(同課課評係長) 少年補導センター主幹 窪田正義(農業委員会農振係長) 同和対策

市議会の 俳句合戦

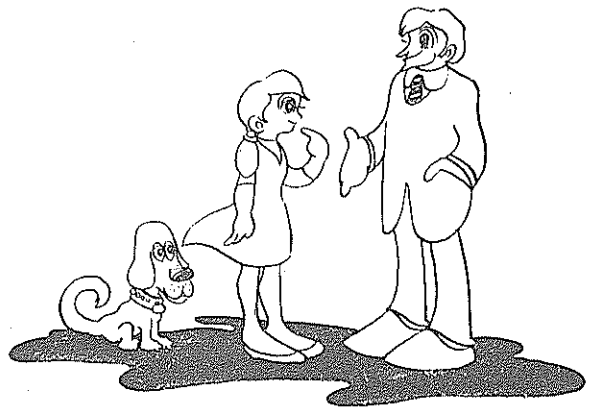


三月定例市議会の一般質問。冒頭の質問にたつた猪野茂行議員、小柄な身体のところから出るのか? はりのある声で市長の政治姿勢、予算編成方針を追及。最後に、「そこで一句」と神妙に、「新市長、春に淋しき算かな、議場や傍聴席がワツとする。つづいて山本端憲議員、新市長、ハイと答えて春うらら、行政には一年生の市長も真面目な議会答弁に好感がもたれたようす。山本議員、重ねてもう一句、新市長、桜の花もほどこかく、緊張した議会になごやかなムード。

これに返せば、「」。俳人市長の面目をかけて、杉本市長も「二期目にするほど余力があれば落第だ。この四年間に私のある限りの力をそぐ」と前置き。山本議員の「桜、そつけて、一身をささげて桜、散る日かな」と答弁。このあとの質問にたつた豊永茂春議員、「市長、私にも一句」とやって爆笑のうす。

きびしい、きびしい市長追及のなかにも、フツと飛び出た。俳句合戦のハブニングの一幕。 植野志津子(大塚) 大崎美津(国府) 西村慶子(稲生) 国府保育所 山崎桃代(西都) 稲生保育所 竹内富士枝(大塚) 南都保育所 村上直子(大塚) 大塚保育所 土居長子(後免) 安岡静子(南都) 里保育所 高橋明子(後免) (一般職) 企画財政課 中沢孝夫(里改田) 公害環境課 吉岡秀文(小籠) 山本晃義(大塚) 管理課 西川公典(物部) 池知隆(篠原) 税務課 森知義彦(東崎) 西岡博(岡豊) 農林園芸課 利岡和憲(小籠) 商工水産課 門田秀夫(稲田) 高木茂美(東崎) 福祉事務所 森岡俊吉(浜改田) 水道局 山崎正道(土佐山田) (保母) 後免保育所 別役七美(包末) 長岡西部保育所 鈴江喜美子(大塚) 佐竹弘衣(大塚) 国府保育所 西川恵子(岡豊) 久礼田保育所 高橋ひろ子(国分) 岡豊保育所 伊尾木あや(東崎) 武市忠美(岡豊) 岩保育所 和田ゆう子(福船) 十市保育所 山下美佐子(前浜) 田中美津子(浜改田) 稲生保育所 吉井志津香(大塚) あけぼの保育所 国沢孝子(春野町) 大塚保育所 村上方理子(立田) 前浜保育所 尾崎久代(高知市機橋)

一世帯に100枚を無料で 4月からゴミ袋を無償配布



四千三百万円で 年四回に分けて

物価狂乱の暗い世の中に、台所に直結した明るい行政の手を。杉本市長は、この四月からゴミ袋の無償配布に踏み切った。一週間に二回ゴミを出すとして一世帯あたり年間百枚、これを年四回にわけて二十五枚ずつが配られる。この経費約四千三百万円。市民の協力で、チリ一つない町づくりができれば安いものといえよう。住民自治への一つの布石ではある。



花子「いちゃん、杉本市長さんがいつかゴミ袋の無料化が、この四月から行なわれることになったって。」
太郎「うん、そうだよ。三月市議会が杉本市長さんの初めての議会だね。はじめは議員さんの中にもタダはいけない、という意見もあったけど。」
ポチ「そうだと、上倉の百四十一世帯や農家の人は自分の家で処理しているのだ。」
太郎「市長さんは、物価狂乱の暗い世の中なのでなにか明るいものを作りたかったんだ。台所に直結したもので、一部の人がかえすより市民のみんなにかえて喜んでもらえるものを。そこでゴミ袋が一番いいということになった。」

花子「ゴミ袋の無料化は他の市でもやっているの。」
太郎「高知県ではもちろん南國市がはじめてのようだね。全国的にも大変めずらしい。東京都の一部の市ではやっているところもあるよ。」



まず…… 廃棄物処理申請を

花子「本当に、狂乱というのがいつたりの感じね。あたたかい市長さんの配慮が市民にわかってもら

えるといいのね。タダだからといって、なにもかも入れたりしてかえってゴミがふえたり、町がきたなくなるのが心配だね。」
太郎「ゴミ袋は、一世帯に年間百枚配られるんだ。もてる人は南國市に住んでいて住民基本台帳に登録されている世帯で「廃棄物処理申請書」を市に出している世帯の人はどうしていいの。」
太郎「やっぱり、南國市の市民だから登録もして税金もはらって。ただもううときは市民で税金を納めるのはいやだ、なんてのは困るんだよ。」

花子「一世帯に百枚というのは、太郎「ゴミは一週間に二回出しているだろう。二回とも出すとしたら一年間で約百枚あるわけよ。そこで、年四回にわけて三ヶ月ごとに二十五枚を地区の衛生委員さんを通じて渡すことにしているんだ。」
ポチ「一人の世帯でも八人の世帯でも年間百枚というのは不公平だぞ。」
太郎「世帯の人数によって枚数をかえれば一番いいんだがね。だけど人数の移動は大変多いんだ。四十八年中に出生、死亡や転入、転出などをした人は六千九百三十三人。世帯の移動は千九百九十六世帯もあるんだよ。そのたびにゴミ袋の枚数をかえていたら市役所もマヒしてしまうもんね。」

週二回収集で 年間約百枚



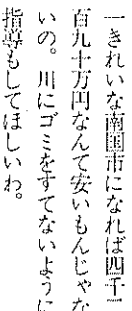
花子「新しく南國市に転入してきた家庭にはどんなにするの。」
太郎「転入したときは市役所の市民課または各支所に転入の届を出すだろう。そのときに次の配付の日(年四回)四月、七月、十月、一月)までの端数を渡すことになるの。」



目的外的使用 転売しないで

太郎「市役所でもパトロールをしたり係員や衛生委員さんが指導にあたるようにしているがね。公害環境課では「ゴミ袋として使用する以外の目的で使用したり、他に転売、譲渡したりしてはいけない。これに違反すると無償配布をとりやめる」といってるよ。」

ポチ「一年間に百枚で足りない世帯はどうしてくれるの。」
太郎「おこったようにいうなよ。一回に二袋いるような特別な人には気の毒だけれども、分は業者から買ってもらうことになるんだ。」



衛生委員さん ご苦労さん



花子「地区の衛生委員さんにはずいぶんご苦労をかけることになるね。」
太郎「市でもそのことを心配しているね。これまでは毎週土曜日に市民の希望によって衛生委員さん

ポチ「協力することといえればほかにもあるぞ。自分のうちで処理できるものや農家の人などで自給の肥料として利用できるものなど、協力していきたいな。」
太郎「待望のゴミ焼却場の完成も六月末になりそうだし、そうできなくてもゴミ収集が混乱したら大変だね。やっぱりはじめのうちにはゴミを出すのが多くなるのは仕方ないとしても。」

台所に直結した 無料化の意義



ポチ「倍額したのはいいが、それにしては少ない報酬だね。」
太郎「うん、市の方も市民や市民組織にはいろいろお世話になってるな。衛生委員さんには、このほか、ゴミ袋一枚につき一円の取り扱い手数料を出すそうだよ。この額だけでも一年間に百三十万円になるんだ。」
花子「なにか新しい事業をしようとすると、ずいぶんお金もいるものね。」
太郎「そうなんだ。市民と直結した、市民の生活に本当に関係のあるものをすると、国や県の補助金のないのがおかしいくらいだね。ポチ「こんどの議会でも補助金の



良心的な 市民の努力を

太郎「うん、だけどその問題はまた話し合うことにして。ゴミ袋の無料化には市民の人たちにもいろいろの意見があるだろうな。みんなの意見をよく聞き、みんなで話し合ってみよう。方法を見つければ、美しい町づくりのためにみんなで力をあわせてがんばりたいんだね。」
ポチ「そうさ、そうさ。」
花子「聴く市政、話す市政、そしてそれに応える市政が市長さんの基本姿勢ですが、市民もかしこい市民にならなきゃあね。市長さんがやってくれる。議員さんにおまかせ。ということでも、私たちの町の未来像や美しい町づくりはやっぱり私たち市民が話し合ってみよう。方法を考えなくっちゃね。」
太郎「うん、みんなでごんばろう。(注)この会話は、三月市議会などの質疑応答をもとに編集したものです。」

部落解放への道

解放運動への取り組み

大正期に入ると部落をめぐる動向に二つの流れがみられるようになります。ひとつは融和運動が政府の援助でさらに活発になってきたことです。華族や政治家や官吏それに宗教家も加わって、同胞がひとしく融けあつて差別をなくしようという精神運動をすすめたのでした。現実にはさまざまな面で市民の権利が保障されていまい部落の人びとの生活を改善するようなものにはならず、たんに同情融和の思想を普及するの若干役立った程度でした。

これに対して大正中期に入ると、部落民自らの手で差別をなくすために立ち上ろうという動きが芽生えてきました。大正中期になると社会も大きく変りはじめ、国民多数の参政権を求める運動や婦人解放運動、さらにはロシア革命の影響による社会主義運動など大正デモクラシーと呼ばれる民主主義思想が国民大衆のなかにひろがりはじめました。第一次世界大戦の好況によって資本主義経済は重化学工業が発展するなかでその規模はぐんと拡大しましたが、大戦以来

のインフレと戦後の反動不況によって国民生活はだんだん苦しくなってきました。

大正七年政府はシベリアに出兵することを含めましたが、この時期を利用して、大商人や地主が米の売り惜しみや買い占めをしたので米価は日々に上がりあがり、庶民は米が買えず困っており、庶民はまた富山県の大商人のおかみさんたちが米の安売りを要求して打ちこわしをしたのがきっかけとなって、米の値上りに苦しむ多くの人たちが自発的に立ちあがって全国的な「米騒動」に発展しました。これに対して政府は軍隊まで動員して鎮圧するとともに、「この暴動は部落民がおこした騒動だから部落に利用されないようにせよ」という事実を反した宣伝をして民衆のなかにある差別意識を利用した分裂策をとりました。米騒動のちのち小工場に働く労働者は賃上げのストライキを行ない、小作農民たちも団結して地主の高率小作料を引き下げさせる要求を出して運動をはじめました。部落の人びとも、今までの部落改善運動や同

情融和思想をのりこえて、部落民自らの力で解放を実現しようという動きが高まってきました。

大正十一年三月三日、京都岡崎公会堂で全国からの代表三千人が参加して「全国水平社創立大会」をひらき、「人の世に熱あれ、人間に光あれ」でむすばれる有名な水平社宣言を採択して、自主的な部落解放運動を力強くスタートさせました。

当時の水平社の活動は、差別的な言動に対する糾弾からはじまりました。それまで差別に泣き寝入りしていた部落の人びとが「われもまた人間である」という血の叫びからたもてたものでした。しかし部落の人びとがいつもぶつかったのは差別による失業と貧乏の苦しみのうえ、日常生活における地区外の人びとの差別的なことばやしぐさでありました。

差別は役所、裁判所、学校、軍隊などあらゆる場所でおこり解放令の実はなかなかのりませんでした。差別に対するはげしい怒りの爆発は、一部では行きすぎた面もありましたが、しかしそれは当時の差別のきびしかったことを表しているともいえます。

政府は差別をこのまま放っておくとまた米騒動のような騒ぎをおこしたり、また社会主義運動などの階級闘争と結びつくおそれがある

と判断して部落の不満をゆるめるために融和行政をいっそうすすめる方針をとりました。

大正九年に内務省では社会局を設けて、地方政善費という名目ではじめて国家予算のなかにはじめて五万五千円計上し、府県にも四万五千円を交付し、翌年には二十一万円を増しましたがそれはきわめて小額なものでした。

しかもこれらの改善事業費は、部落のおかれているきびしい差別と貧困の現実を目を向け、正しい部落解放を考えたものではなく、治安対策のためであったり、同情的融和的な発想からの施策にしかすぎませんでしたのであまり大きな成果はあがりませんでした。水平社運動は時には行きすぎた面はありましたが、世の人びとに人権の大切さ、部落差別の不合理さを自覚させる一大警鐘になりました。

タバコは市内
で買いましょ

四十七年度の市のタバコ消費税は六千二百五十円でした。ハイライト一箱につき約十五円が税として入り、みなさんのために使われます。

結核健康診断と予防接種の変更

昭和四十九年度から結核健康診断と予防接種の実施方法が大幅に

改正されました。こんどの改正は結核患者の減少

健康診断による患者発見率の低下、エックス線被曝の影響に対する配慮の必要性などを考えて、適切な措置をとろうとするものです。具体的な変更は次のとおりです。

結核健康診断とBCG接種実施方法

改正前	改正後	改正理由
▽毎年1回、満15歳以上の成人に対するレントゲン撮影	▽これまでどおり。	▽これまででは疑陽性者にもBCG接種を実施していたが、結核発病者の中には疑陽性者が非常に少ない。疑陽性者には免疫ができています。
▽生後～6歳までの乳幼児に対して、毎年1回全員にツベルクリン反応を行ない、陰性疑陽性者に対してBCG接種をする。	▽生後～4歳になるまでの間に1回だけツベルクリン反応を実施し陰性者にだけBCG接種をする。	▽最近のBCG接種は免疫がかなり持続すること。
▽保育所、幼稚園 毎年1回ツベルクリン反応を実施し、疑陽性者、陰性者に対してBCG接種をし、疑陽性者、陽性者に対してレントゲン撮影をする。	▽4歳になるまでの間にツベルクリン反応検査をし、陰性者に対してのみBCGをする。	▽レントゲン撮影についてはX線による被曝の問題で若年者に対するX線の照射を必要最小限にとどめる。
▽小学校、中学校 同上	▽小学校1年、中学校2年全員に対してツベルクリン反応を実施し、陽性者にはレントゲン検査、陰性者にはBCG接種をする。 陰性者にはレントゲンもBCG接種も行なわない。 また、小学1年、中学2年にBCG接種を実施した者には翌年、それぞれツベルクリン反応検査をして経過をみる。	

し尿くみ取り

料金が改正

最近の急激な諸物価の高騰、賃金の上昇、営業用車輛の管理などあらゆる面で、し尿許可業者が運営困難になっています。市では昭和四十三年から六年間、し尿くみ取り料金の改正をしておらず、他市町村との不均衡もあり、やむをえず、次のように料金の改正をします。

実施日：昭和四十九年四月一日
改正料金：旧料金、十八円（一斗）
三十円を四十円に、十八斗に満たないときは十八斗とみなされます。

公害環境課

乳児の健康診断は

昭和四十八年十月一日以降の出生児は、乳児の一般健康診断が一回だけ無料で受けられるようになりました。その受診票は出生届のとき、市民課給付係でいただいた申請にもとずいて二、三ヵ月後に個人あてに郵送しています。

ところが、住所不明やその他の理由から受診票が返送されてくる場合があります。それでもし、出生後三ヵ月を経てもまだ受診票がとどかない人がいましたら、給付

公衆浴場入浴

料金の助成制度

このたび県では公衆浴場営業者、民生委員の皆さんのご協力を得て、四十九年一月から次のとおり入浴料金の一部を助成することにいたしましたので、ご利用ください。

▽利用できる人
自家風呂がなく公衆浴場を利用している人

●生活保護を受けている人

●六十五歳以上の老人の人

▽内容
一人一回の入浴につき五円の入浴料の給付を行います。なお、月八回分を助成対象としています。

▽方法
生活保護をうけている人は生活保護費の中へ現金で、老人の人には入浴券を交付します。

▽手続
申出手続が必要ですので民生委員または福祉事務所社会係におたずねください。

福祉事務所

4

5

市民カレンダー
4月20日から5月10日まで

	一般行事	衛生
20(土)	書道教室・後免町公民館13.00~15.00 人権相談・後免町公民館10.00~15.00	不燃物の収集(宇田、東崎、東部、西部、中部、折年)
㊤(日)	絵画教室・後免町公民館10.00~12.00 剣道祭・市民体育館	休日在宅医・川本医院(宇田)4-2543
22(月)	尺八教室・中央公民館19.00~21.00	乳児検診・1.30~2.30中央公民館(48.3.1~48.8.31生) 不燃物の収集(国府、岩)
23(火)	詩吟サークル・中央公民館18.00~20.00 舞踊教室・後免町公民館13.00~19.00	乳児検診・1.30~2.30中町公民館(48.3.1~49.1.31生) 不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小連、定林寺、滝本、蒲原)
24(水)	謡曲教室・中町公民館18.00~20.00 生花教室・後免町公民館13.00~15.00	乳児検診・1.30~2.30植野公民館(48.1.1~48.8.31生) 不燃物の収集(中島町、沖、三島、常通寺島、吉田、江村、小籠)
25(木)	書道教室・中央公民館18.00~20.00 花道サークル・中央公民館18.00~20.00 舞踊教室・後免町公民館13.00~19.00	乳児検診・1.30~2.30中央公民館 (48.9.1~49.1.31生) 不燃物の収集(植田、久礼田)
26(金)	謡曲教室・後免町公民館19.30~21.30	乳児検診・1.30~2.30植野公民館(48.9.1~49.1.31生) 不燃物の収集(植野、領石)
27(土)	書道教室・後免町公民館13.00~15.00	不燃物の収集(瓶岩、上倉)
㊤(日)	絵画教室・後免町公民館10.00~12.00	休日在宅医・なんごく産婦人科(後免)4-2910
㊤(日)	尺八教室・中央公民館19.00~21.00	休日在宅医・小松診療所(稲生)5-8334
30(火)	詩吟サークル・中央公民館18.00~21.00 舞踊教室・後免町公民館13.00~19.00	
1(水)	謡曲教室・中央公民館18.00~20.00	不燃物の収集(浜改田)
2(木)	書道教室・ } 中央公民館18.00~20.00 茶道サークル } 舞踊教室・後免町公民館13.00 19.00	不燃物の収集 前浜(下島里、下島浜、久枝含む)
㊤(金)	謡曲教室・後免町公民館19.30~21.30	休日在宅医・東川整形外科(大埔)3-3261 不燃物の収集(立田)
4(土)	書道教室・後免町公民館13.00~15.00	不燃物の収集(田村)
㊤(日)	きもの贈付教室・中央公民館14.00~16.00 絵画教室・後免町公民館10.00~12.00	休日在宅医・小栗医院(十市)5-8405
㊤(日)	尺八教室・中央公民館19.00~21.00	不燃物の収集(十市)
7(火)	詩吟サークル・中央公民館18.00~20.00 舞踊教室・後免町公民館13.00~19.00	不燃物の収集(里改田、片山)
8(水)	謡曲教室・中央公民館18.00~20.00 生花教室・後免町公民館13.00~15.00	不燃物の収集(能間、野田口、城陸、朝日町)
9(木)	書道教室 } 中央公民館18.00~20.00 茶道サークル } 舞踊教室・後免町公民館13.00~19.00	不燃物の収集(稲吉、西窓、新川、鈴江)
10(金)	謡曲教室・後免町公民館19.30~21.30	不燃物の収集(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、伊達野、南海学園)

3月の交通事故

	件数	死者	傷者
3月の事故	31件	1人	42人
去年の3月	43件	1人	72人
ことしの累計	75件	2人	100人

田をきれいにしよう

河川美化運動

4月1日~30日